

イラスト：池下章裕

桐
蔭
宇
宙
展

おかえり、はやぶさ
日本の宇宙開発の軌跡

2011年6月11日(土) - 7月2日(土)

桐蔭学園メモリアルアカデミウムソフォスホール
10:30-17:30 (入館は17:00まで) 入場無料

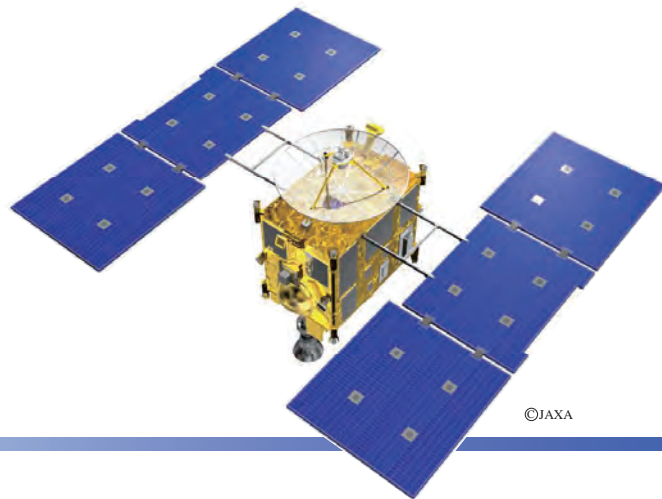
バスでのご来場をお願い申し上げます。田園都市線 市が尾・青葉台各駅、または小田急線 柿生駅から桐蔭学園行きバスで約15分

- 休館日/日曜日 ■主催/学校法人桐蔭学園
- 協力/宇宙航空研究開発機構(JAXA)、日本宇宙フォーラム、根本圭助
- 協賛/紀伊國屋書店、共立、京浜警備保障、サクラ、清水建設、千代田ビル管財、三友、有隣堂、横浜銀行



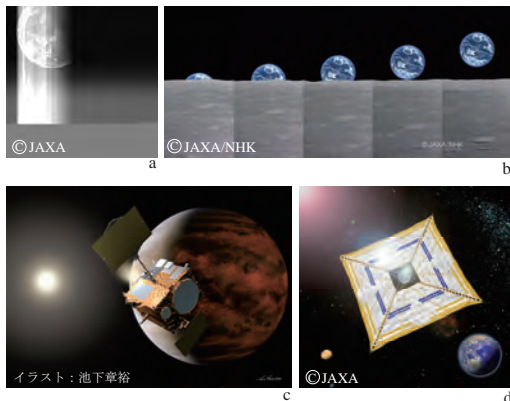
MEMORIAL ACADEMIUM

「はやぶさ」の帰還から1年。 想像力と熱意で 拓かれた、 日本の宇宙開発の軌跡。



©JAXA

■ 展示内容 (一部)



【おかえり、はやぶさ！】

「はやぶさ」実物大写真パネル、ターゲットマーカ（プロトモデル）、小惑星「イトカワ」1/100 模型 ほか

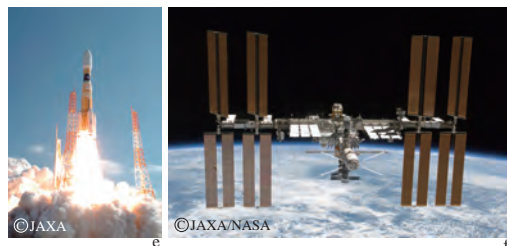
【人工衛星・探査機】

金星探査機「あかつき」1/5 模型、小型ソーラー電力セイル実証機「イカロス」1/64 模型、月周回衛星「かぐや」1/16 模型、陸域観測技術衛星「だいち」が宇宙から撮影した桐蔭学園と横浜市周辺の画像 ほか

【有人宇宙活動・宇宙ステーション】

国際宇宙ステーション 1/100 模型、宇宙ステーション補給機「こうのとり」1/25 模型 ほか

そのほか、種子島宇宙センター 1/500 模型、ロケットモデルセット 1/100 模型など展示



a. 「はやぶさ」最後の地球撮像画像 b. 月周回衛星「かぐや」による「満地球の出」の様子 c. 金星探査機「あかつき」★ d. 小型ソーラー電力セイル実証機「イカロス」★ e. こうのとり2号機/H-IIロケット2号機打上げ写真 f. 分離後のディスカバリー号から撮影されたISS (★の写真はイメージ図)

■ 記念講演



講師 **國中 均 先生**

(宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 宇宙輸送工学研究室 教授)

日時 2011年6月25日(土) 13:30~15:30 (13:00開場)

会場 桐蔭学園メモリアルアカデミウムB2F
ポロニアホール

定員 200名 (先着順、桐蔭生優先)
※参加方法は後日配付の展覧会リーフレットに記載。

くになかひとし:1988年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、工学博士。2005年より現職、ならびに東京大学大学院工学系研究科学際工学教授を併任。マイクロ波放電式イオンエンジンを研究開発し、小惑星探査機「はやぶさ」に応用して地球-小惑星間往復航行を達成。豪州にてカプセル回収作業の陣頭指揮。現在は次期小惑星探査機などに向けた新型イオンエンジンの開発を行いながら、後進の指導にあたる。

■ 特別展示

挿絵画家 **小松崎 茂 氏**が描いた宇宙



「宇宙コロニーII」1980年 © Shigeru Komatsuzaki

桐蔭宇宙展

『おかえり、はやぶさ~日本の宇宙開発の軌跡~』によせて

桐蔭学園理事長 **榊原 滋**

2010年6月13日、幾多のトラブルを乗り越え、「イトカワ」から地球帰還までの7年間、60億kmに及ぶ宇宙の旅を終えた小惑星探査機「はやぶさ」。帰還カプセルにより持ち帰られた微粒子は、太陽系の成り立ちを知る上での貴重な手がかりになると期待され、日本の科学・技術の高さを世界に示し、人々に感動と希望を与えてくれました。

このたびの展示では「はやぶさ」と、現在運用されている人工衛星・探査機を主軸に、日本の宇宙技術の歩みを模型・パネル・映像で紹介いたします。さらに日本を代表する挿絵画家、小松崎茂氏が描いた空想科学イラストの原画作品を特別展示いたします。

また、記念講演として、「はやぶさ」に搭載されたイオンエンジンの開発を担当した國中均教授をお招きし、「はやぶさ」の軌跡と宇宙大航海時代の展望を語っていただきます。

桐蔭の在校生には、宇宙・科学への興味・関心を高めるとともに、豊かな想像力と創意工夫の精神をもって、来たるべき未来へ邁進することを期待します。

本展の開催にあたり、独立行政法人宇宙航空研究開発機構、財団法人日本宇宙フォーラム、ならびに根本圭助氏に多大なご協力を賜りました。心から御礼申し上げます。

